



# 6月園だより

令和6年6月1日

第三ひもんや保育園園長

先日、3歳児が園庭にあるマット入れを乗り物に見立て数人の友達と中に入り込み楽しそうに遊んでいました。数日後、園庭に出てそのマット入れに目を向けると3歳児が遊んでいた場所で、1歳児がニコニコ笑顔で嬉しそうに入ったり出たりして遊んでいました。また、別の日には2歳児がその場所を家に見立て遊んでいます。家ということで中に入るときに靴を脱いでいる姿がなんとも可愛らしく思わず微笑んでしまいました。そばに行き見ていると「ここはね、〇〇ちゃんと〇〇ちゃんのおうちのの」と意気揚々と教えてくれました。年上の子が遊んでいた姿に魅力を感じて自分たちもやってみよう、やりたいなと思い真似をして遊んでいる姿を見て、異年齢と一緒に過ごすことの大切さを改めて感じました。0歳児～5歳児と一緒に過ごす保育園での子ども同士の関りを大事にしていきたいと思います。また“マット入れは入って遊ぶところではない”と固定概念にとらわれず、子どもたちの豊かなイメージを大切にして遊びを広げていきたいと思います。

第三ひもんや保育園の自慢の一つである広い園庭を大いに生かして、これからも子どもたちが好きなことを思いきり楽しめるように日々の点検を行い、職員と共に安心安全な環境づくりを行っていききたいと思います。



## <行事予定>

ポニー教室 (5歳児クラス)  
 プール開き  
 避難訓練



## <検診のお知らせ>

耳鼻科検診 (3・4・5歳児クラス)  
 眼科検診 (全園児)  
 歯科検診 (全園児)  
 身体計測 (全園児)



## <懇談会>

3歳児クラス懇談会  
 1歳児クラス懇談会



## お米作りの様子



### 「どろどろだね」

今年も5歳児はお米を育てます。その1番初めの田んぼ作り(代掻き)をしました。発泡スチロールの中の土を触って「サラサラだ」と土だけを混ぜます。その中に水を入れると「わあ冷たい」と言いながら水と土を混ぜ始め「重たくなってきた」「どろどろだね」と言っていました。初めは指だけで混ぜ始めていた子も「もっと奥まで混ぜて」と声をかけると腕まで泥がつくくらい下に手を入れて混ぜていました。「たくさん混ぜたらおいしいお米ができるもんね」と友達同士話していました。「お米ができたならお寿司にしよう」「おにぎりもいいね」と期待を膨らませています。これから田植えをしておいしいお米を育てていきたいです。



## ～乳児クラス園庭遊びの様子を紹介します～

### 0歳児クラス（ありんこ組）

#### 「なんだろう」

園庭に出ることに緊張していた子どもたちも少しずつ慣れてきました。マットの上から這い這いで手を伸ばし砂に触ると、何だろうという表情で保育士の顔を見ている。「サラサラしてるね」と声をかけるとにっこり笑って、また砂に触れています。今度は洗面器に少し水を入れ湿った砂を作ると、ゆっくり手を入れ手についた砂をじーっと見つめています。保育士が砂をニギニギして見せると「あーあー」と声を出したので、手のひらに砂をのせてあげると握っては手を開き感触を楽しんでいました。これからも色々なものに触れ、自然を感じながら一緒に楽しんでいきます。



### 1歳児クラス（ちょうちょ組）

#### 「泥んこ触ってみようかな」

園庭で遊んでいると、水を入れてほしくてカップを持ってきたので水を入れてあげると、こぼれないようにそっと歩いています。しばらく進むとジャーっとこぼし泥の水たまりができました。裸足になって保育士と一緒に泥んこの中に入ってみると嬉しそうに保育士の顔を見ていたので「ドロドロだね、気持ち良いね」と声をかけると「ね」と足踏みをして泥が飛び散るのを楽しんでいました。近くで様子を見ていた子もそっと泥に触れて保育士や友達に手を見せて「泥んこ一緒だね」と言うと「ね」と笑顔が見られました。子どもが自分から興味を持って“やってみたい”という気持ちを大切にしながら、様々な遊びを経験できるように一緒に楽しんでいきます。



### 2歳児クラス（てんとうむし組）

#### 「ほらみて」

園庭では、鉄棒での縄ブランコがブームになっていて、縄と小さいマットを持ってくると「縄を結んで」と大人に声をかけてきます。少し前まではマットを大人が支え座ると大人が軽く背中を押して揺らしていましたが、年上の子たちのやり方を見て自分で体を揺らしたり膝を曲げて漕ぐことを楽しんでいます。好きな遊びを何回もくり返し遊ぶ中で、遊びのコツをつかみ出来るようになった喜びが自信に繋がっています。これからも楽しいことを一緒に見つけていきたいと思います。

